

お客様に、生命保険の魔法の力を。

そのお客様は、まだ生命保険の真の力を存知ありません。
なぜなら、私たちライフプランナー[®]に会っていないからです。
私たちにしかできない役割——
それは大切な人のために、魔法の力を伝え続けることです。

人々を助けるという生命保険の魔法の力、
それには必ずや使命があるのです。

※「ライフプランナー」は、ザ・プルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。

プルデンシャル生命保険株式会社

東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
市場開発チーム TEL 03-5501-5070



M&A成約実績、 過去最高記録を更新



成功事例ファイル20

株式会社タンパック&エブレン株式会社

情報会員登録者数、1,000名超に

土業の皆様とのM&Aに関する無料の提携制度です

上場企業の9割以上がM&Aに前向き

「国内上場企業のM&Aに関する意識調査」結果より

<http://www.nihon-ma.co.jp/>

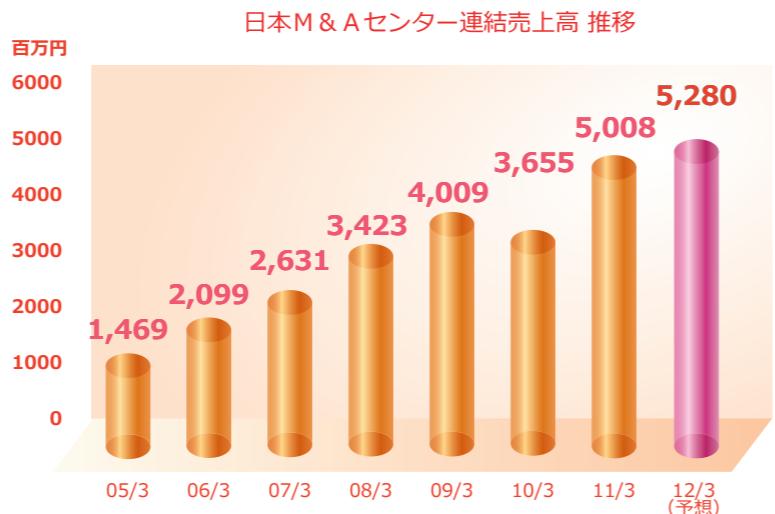
M & A 成約実績、過去最高記録を更新

M & A deals closed

2011年7～9月の3ヵ月間で、55件
(譲渡・譲受け別カウント)のM & A成約のお手
伝いができました。

団塊の世代が65歳を迎える「2012年問題」を目前に、M & Aニーズがますます高まっ
ており、日本M & Aセンターの売上高の推移にも表れています。

これからもお客様のニーズに応えられるよう、
人員の拡充とサービス品質の向上を行ってまい
ります。



	譲渡企業		譲受け企業		取引スキーム
	事業内容	所在地	事業内容	所在地	
1	農業資材卸	関東	包装資材製造	中国・四国	株式譲渡
2	電気工事	関東	設備工事	関東	株式譲渡
3	出版	関東	出版	関東	株式譲渡
4	電気通信工事	関東	電気通信工事	関東	株式譲渡
5	医薬品物流	関東	医薬品卸	関東	株式譲渡
6	ドラッグストア	北海道・東北	ドラッグストア	関東	株式譲渡
7	電気工事用資材製造	東海・北陸	電気工事用資材製造	関西	株式譲渡
8	中古車輸出	関西	自動車小売	中国・四国	株式譲渡
9	看板工事	東海・北陸	広告代理店	東海・北陸	株式譲渡
10	包装資材・酒類食品卸	関東	物流	関西	株式譲渡
11	アパレル	関東	ファンド	関東	再生
12	システム・ソフトウェア開発	関東	電子部品商社	関東	株式譲渡
13	清酒製造	甲信越	清酒製造	関東	株式譲渡
14	ソフトウェア開発	関西	人材派遣	関東	株式譲渡
15	スポーツ用品レンタル小売	関西	スポーツ用品小売	関西	株式譲渡
16	プラスチック成型加工	関西	自動車部品製造	関東	株式譲渡
17	警備	関西	警備	東海・北陸	株式譲渡
18	金属加工	関西	機械部品製造	関西	株式譲渡
19	食品卸	関東	食品卸	関東	株式譲渡
20	菓子製造小売	関東	飲食	関東	株式譲渡
21	人材派遣	東海・北陸	製造請負	東海・北陸	株式譲渡
22	介護	関西	介護	関東	株式譲渡
23	食品製造	関東	食品製造	関西	株式譲渡
24	金属製品製造	関東	機械専門商社	関東	株式譲渡
25	不動産管理	関東	不動産管理	中国・四国	会社分割
26	スポーツ施設運営	関東	スポーツ施設運営	北海道・東北	事業譲渡
27	医療法人管理会社	東海・北陸	医療機器卸	関東	株式譲渡
28	機械卸	東海・北陸	精密機器製造	東海・北陸	株式譲渡
29	自動車用品小売	関東	新車中古車販売	関西	株式譲渡
30	印刷	関東	印刷	関東	株式譲渡
31	医療用機器卸	関東	調査会社	関東	事業譲渡
32	アミューズメント施設運営	関東	-	-	再編

経営者のためのM & Aセミナー

M & A seminar for managers

2012年2月「経営者のためのM & Aセミナー」、開催決定！！

2012年2月に「経営者のためのM & Aセミナー」を開催いたします。多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

	日 程	会 場
東 京	2月21日(火)	ホテルニューオータニ ザ・メイン「芙蓉の間」 東京都千代田区紀尾井町4-1
大 阪	2月 8日(水)	ヒルトン大阪 「桜の間」 大阪市北区梅田1-8-8
名 古 屋	2月14日(火)	名古屋マリオットアソシアホテル「タワーズボールルーム」 名古屋市中村区名駅1-1-4
仙 台	2月10日(金)	ホテルメトロポリタン仙台「千代」 仙台市青葉区中央1-1-1
福 岡	2月23日(木)	ホテル日航福岡「都久志の間」 福岡市博多区博多駅前2-18-25

※各会場とも 13:30～16:40 (受付開始 13:00)

10月開催「経営者のためのM & Aセミナー」の 申込者数が最高記録を更新、1,400名を超える



M & Aで会社を譲渡された印刷会社の前オーナーに、
体験談を語っていただきました



当社会長・分社長より、企業をとりまく環境
について講演いたしました

東京会場は500人の方に
ご出席いただきました

M & A成功ファイル20

～後継者問題解決・今後の成長のためのM & A～

2011年6月、当社がお手伝いしてM & Aを実行された2社、タンパックの竹下様とエブレンの上村様をお迎えし、M & Aを決意された理由や当時の心境などをお聞きしました。

譲渡企業	株式会社タンパック
	所在地：東京都台東区
	業務内容：産業用ボードコンピューター設計製造
	売上高：約2.3億円
	従業員数：16名

譲受企業	エブレン株式会社
	所在地：東京都八王子市
	業務内容：産業用コンピューターバックプレーン製造
	売上高：約50億円
	従業員数：110名

M & A調印式にて(2011年6月)



株式会社タンパック
代表取締役社長
竹下吉大様
(たけしたよしまさ)

エブレン株式会社
代表取締役社長
上村正人様
(かみむらまさと)

※職称は当時のもの

一竹下様、株式会社タンパックのご紹介と、M & Aを検討した経緯をお教え下さい。

竹下 タンパックは、産業用ボードコンピューターの設計・製造をファブレスで行う開発型企業です。業界内では数少ない独立系で、高い技術力を背景にお客様にも恵まれてきました。

私は現在64歳で、数年前から会社を次世代に承継することを考えるようになりました。しかし息子は大手電機メーカーに勤務しており、業界も異なるため後継者として会社を継ぐ意思はありません。幹部社員を社長に登用することも考えましたが、会社を運営していくには金融機関からの資金調達が必要であり、その個人保証や担保などが求められます。社員に会社の借金を被せるわけにはいかないという思いがあり、逡巡する日が続きました。

さらに、経済環境が悪化したときには、受注がストップしてしまいます。リーマンショックのような景気の悪化は、何度も乗り越えるのは単独では難しいのではないか、と感じるようになりました。

そこで、「後継者問題の解決」と「さらなる会社の発展の実現」を同時に目指すため、選択肢の一つとしてM & Aを考えてみることにしました。

いろいろと調べて、日本M & Aセンターが開催している「経営者のためのM & Aセミナー」に参加してみることにしました。それが、2010年9月終わりのことです。

一上村様、エブレン株式会社のご紹介とタンパック様を譲受けた経緯をお教え下さい。

上村 エブレンは、産業用コンピューターの回路基盤を収納する筐体(バックプレーン)の製造・開発を手掛けています。この分野では、日本シェアNo.1になりました。これまで積極的に事業を拡大してきましたが、さらなる成長を目指しています。

今、「通信速度の高速化」が追求されており、技術革新が目まぐるしく進んでいます。この“超高速通信”に耐えうる回路を作らなければなりません。そのためには、自社内にマザーボード技術を取り込んでの回路技術開発は避けて通れないと思っていました。ですので、技術獲得のためのいい方法はないものか、という思いは以前からありました。そんなとき、業界でも有数の技術力を持つタンパック社譲受の話をいただいて、驚くと同時に大変興味を持ちました。

その理由は、短期的にも長期的にも事業シナジーを見認める直感したからです。まず短期的には、タンパック社とお客様が共通しているため、すぐにコスト面・サプライチェーン面で効果が出るであろうことです。エブレンの回路基盤や筐体にあらかじめタンパック社のボードコンピューターを実装した上で納品できれば、お客様が求める完成品により近い、「モジュール」としてご提供できるようになります。そうすれば、ワンストップソリューションで、よりメリットを感じていただけるようになると思います。

長期的には、タンパック社が前述した通信回路の技術開発の、橋頭堡になってくれることです。タンパック社の技術が、エブレンのコンピューターバックプレーンの回路開発に大いに役立ってくれるでしょう。

一竹下様、エブレン様との提携を決意された理由を教えてください。

竹下 独立系の同業者は少なく、ほとんどがすでにどこかの大手企業のグループに入っている会社ばかりです。独立系を保ってきたタンパックが、そうした大手企業グループに入ってしまうのも少し寂しい気はしていました。

日本M & Aセンターの担当者から初期段階は周辺業種も含めて広く候補を探した方がいいとアドバイスを受け、少し広めにお相手候補を探していただきました。エブレン社が当社に興味を示してくれているとの回答があったとき、「あのエブレン社が」と思いましたが、よくよく考えてみると、シナジーが高いと気づきました。

エブレンさんと当社の顧客は共通しますし、エブレンさんは優良な顧客を多くお持ちです。上村社長と同じく、共通のお客様に完成品を提供できるようになることは大変な強みになる、と思いました。

エブレン社を通じてタンパックのボード製品を提供できるようになれば、タンパックにとっても大きなメリットです。

一現状はどうですか？

上村 タンパック社は今も引き続き以前のままの体制で運営しています。技術開発は人が資産です。エブレンのもとでがんばっていこうと思ってもらえなければ、グループ化する意味がありません。しかし私の心配をよそに、現場では技術を通して人材交流も進み、徐々に融合が進んでいるようです。

竹下 勢いのあるエブレンさんと一緒に、タンパックも成長していく道筋が見えたことで、創業者としてほっとしています。タンパックが持つ高い技術は、一朝一夕で醸成されたものではありません。技術専門学校でも、最先端技術は学べません。タンパックのように、長年研究開発をしながらものづくりをしている「現場の技術者」が最新の技術やノウハウを持っているのです。

これからエブレンさんが目指す企業に成長していく過程で、こうした当社の人材・技術・ノウハウが果たす役割は大きいと考えています。従業員たちがこれからも引き続き活躍できる場を広げられたことも、経営者として嬉しい思います。

今ではM & Aのお相手としてエブレンさん以外にはなかったのかな、と思うほどです。良縁に恵まれ、皆様に感謝しています。

タンパック様の製品の一部をご紹介

産業用機械に搭載されるボードを設計・製造しています。



【GME 965WDV】
Intel製 GME 965チップセットを搭載したCPUボード。高性能なCore 2 Duoとデュアルディスプレイ対応、オプションで4ch SIOを搭載可。



【GME 965MT】
Intel製 GME 965チップセットを搭載したCPUボード。高性能なT5000、低消費電力なU7500等のCore 2 DuoとローコストなCeleron 550に対応。

当社ホームページでは、これまでのM & A成功事例を他にも紹介しております。
ぜひご覧ください。
→ <http://www.nihon-ma.co.jp>

情報会員登録、1,000名超に

～土業の皆様との、M & A に関する無料の情報交換制度です～

2011年10月、情報会員登録数が1,000名を超えるました。情報会員の皆様からは、「M & Aの勉強をしたい」「M & Aを検討している顧客がいるので相談したい」というご要望を多くいただいております。これらのご要望を受けて、10～11月、全国5カ所(東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台)にて土業の皆様を対象に「土業のためのM & Aセミナー」を開催いたしました。多くの皆様にご出席いただき、大変貴重な情報交換の場になりました。

日本M & Aセンターでは、経営者にとって一番身近な法律・会計の専門家である土業の皆様にこそ、M & Aのアドバイザーとして活躍してほしいと考えています。情報会員向けのセミナーや勉強会などを継続して実施する予定ですので、ぜひご登録ください。全国の土業の皆様からのご登録をお待ちしております。



「情報会員限定 特別交流会」名古屋会場の様子



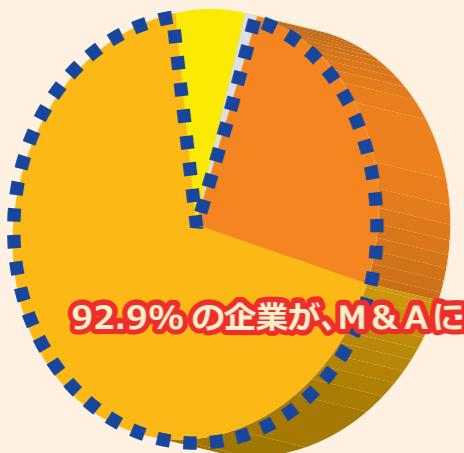
「土業のためのM & Aセミナー」札幌会場の様子

詳細・ご登録は
こちらから

ホームページから▶ M & Aセンター 情報会員 検索
お電話から ▶ 0120-03-4150

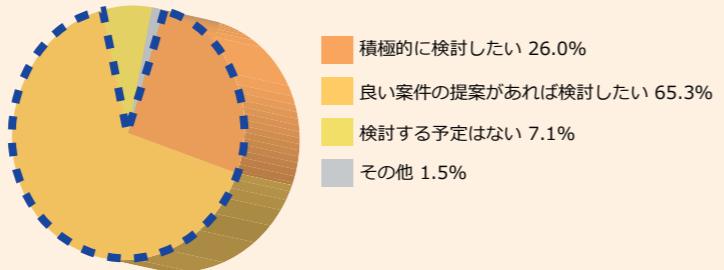
《震災から半年、上場企業のM & A意欲回復—93%がM & Aに前向き》 ～ 国内上場企業のM & Aに関する意識調査 ～

【設問：今後のM & A戦略について考え方をお聞かせください。】



■ 積極的に検討したい 25.4%
■ 良い案件の提案があれば検討したい 67.5%
■ 検討する予定はない 6.1%
■ その他 0.9%

【ご参考】 前年(2010年)の同調査結果

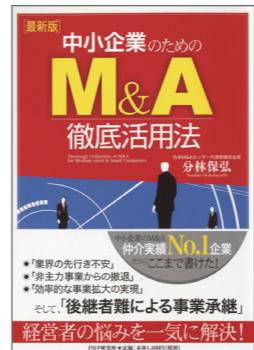


【調査概要】
アンケート実施期間：2011年7～8月
対象：国内上場企業3,433社
回答企業数：231社
調査集計及び分析企業：株式会社矢野経済研究所

お知らせ

Information

【最新版】中小企業のためのM & A徹底活用法を上梓



八重洲ブックセンター、 ビジネス書ランキング「第1位」

(2011年10月第1週)

【最新版】中小企業のためのM & A徹底活用法
株式会社日本M & Aセンター 代表取締役会長 分林保弘
PHP研究所 定価 1,470円(本体価格 1,400円)
ISBN 978-4-569-80025-7

日本M & Aセンター会計人グループ “スイス国際会議” 開催決定！！

2012年3月の日本M & Aセンター会計人グループ国際会議は、プライベートバンクの本場のスイスにて開催いたします。会議後、各地の視察も計画しております。お申込・詳細につきましては理事会員各位へご案内を送付いたしますので、そちらの書面にてご確認ください。今回も多数のご参加をお待ちしております。



例年、200名以上の理事会員の皆様にご参加いただいております



前回の国際会議の様子(2010年3月、スペイン・バルセロナにて)

M & A案件・事例は、日本M & Aセンターのホームページをご覧ください

案件情報はこちで ⇒ <http://www.nihon-ma.co.jp/anken/>

譲渡希望情報・買収希望情報の一部を、下記のような形式でご紹介しております。

ご希望に合致する案件がございましたら、お電話にて案件番号をお伝えください。

また掲載登録をご希望の方は、専用の登録シートのFAXまたはホームページからご登録ください。

＜買収希望情報の一例＞

登録No.	希望業種	希望エリア	希望サイズ(年商)	備考
1260	調剤薬局	全国	不問	3店舗以上を保有する会社を希望

※上記以外にも多くのニーズが登録されておりますので、ぜひご覧ください。

＜案件に関するお問い合わせ＞
お電話にて案件番号をお伝えください。

0120-03-4150

＜登録・掲載方法＞

専用の登録シートをFAX
またはホームページよりご登録ください。

＜編集後記＞

団塊の世代が65歳を迎え、中小企業で後継者問題が深刻化すると予想される「2012年」が、とうとう1ヵ月後に迫りました。中小企業の3分の2以上が後継者不在に陥る時代に突入していきます。加えて業界再編も活発になってきます。当社としても、情報会員の増大などさらなる情報網拡大に注力し、ベストマッチングのためのインフラ整備を進めております。(と)

発行所：株式会社日本M & Aセンター(証券コード：2127)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館19階

TEL.03-5220-5454(代) / FAX.03-5220-5455

<http://www.nihon-ma.co.jp/>

発行人：分林 保弘

編集人：飯野 一宏